

会 議 録

会 議 名	第49回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	1 議案 (1) 令和5年度市民活動支援センターの事業実施計画(案)について 2 報告事項 (1) 令和4年度市民活動支援センターの登録状況(令和5年3月31日現在)について (2) 令和5年度市民活動支援センターの登録状況(令和5年4月1日現在)について (3) 令和4年度市民活動支援センターの利用状況(令和5年1月～3月)について (4) 第3回こまめカフェの開催結果について (5) 学習会(助成金)の開催結果について (6) 令和4年度市民活動支援センターの事業実施報告について (7) 令和5年度市民活動団体支援補助金について
日 時	令和5年4月26日(水) 午後2時から午後3時40分まで
場 所	野田市役所高層棟8階 大会議室
出席委員	会 長 竹澤 勇司 委 員 武智 多恵子、岩井 勝治、北倉 恵美子、加藤 眞智子 名代 ちよ子、芝田 栄太郎
欠席委員	副会長 立山 喜弘
事務局等	副市長 今村 繁 市民生活部長 宮澤 一弥 市民生活課長 須賀 良平 市民生活課長補佐 岡田 敦子 市民生活課コミュニティ係長 高梨 清美 市民生活課主任主事 山田 典生 市民活動支援センター長 関口 一夫

	主任コーディネーター 釜田 正雄 コーディネーター 荒井 ハツヨ、渡邊 勝男
傍 聴 者	無し
議 事	第４９回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
１ 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 傍聴人の申出がなかったことを報告。 ２ 副市長挨拶 今村副市長挨拶 ３ 職員紹介 事務局職員の自己紹介を行った。 ４ 議事 議長（竹澤会長） 議案（１）の審議の前に、関連する報告事項（１）から（７）についての報告を受けてから議案（１）を審議することにしたいが、良いか各委員に問うた。 《異議無し⇒了承》 報告事項（１） 市民活動支援センターの登録状況について （資料 報告 １）－１～２） 議長（竹澤会長） 報告事項（１）について、説明を求めた。 関口支援センター長 報告事項（１）「令和４年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。 議長（竹澤会長）	

報告事項（１）について、委員に意見を求めた。

各委員

特に無し

議長（竹澤会長）

意見がないようなので、報告事項（１）については、以上を報告事項とする。

報告事項（２）令和５年度市民活動支援センターの登録状況について

（資料 報告 ２）－１～２）

議長（竹澤会長）

報告事項（２）について説明を求めた。

関口支援センター長

報告事項（２）「令和５年度市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（２）について、委員に意見を求めた。

芝田委員

申請がない団体について説明を受けたが、そのような予備軍（申請していない１０団体）の、「なぜ申請しなかったのか」という理由について、もし把握できていたら説明をお願いしたい。

関口センター長

令和４年度の登録団体について確認したところ、登録するのを忘れた、と聞いている団体が、４団体ある。そのうちの３団体と連絡がついていない。１団体は、登録するのを忘れていた、と言っていた。

芝田委員

私が関係している団体も、だんだん高齢化になり、組織の存続が将来的に難しいかな、というのが現実にある。そういう組織が、他にどのくらいあるか知りたかったので質問した。

岩井委員

休止、解散になった団体の主たる理由が、高齢化という話を伺ったが、もう少し細かい分析は難しいのか。単に、高齢化と言えば分かりやすいが、もう少し細かく見てもらって、どういう対策をしていったらよいかを考えたいかがか、と思う。

釜田主任コーディネーター

登録団体の共通の悩みというか課題だが、高齢化に伴っての退会、次の役員のなり手がいない、というのが現状である。

本来であれば、世代交代をしてうまくつなげていけばいいが、なかなか難しい。どの団体も同じ悩みである。一方、若い世代が新しい団体を作って登録してくれているというのも、最近増えてきている。

岩井委員

個人的な意見だが、いろいろな団体を見て、役員を3年くらいで定期的に入れ替えていく団体は、割と長続きしているような気がする。役員の入替えについて、強制するのは難しいと思うが、「こういう例もあります」ということで、団体に紹介できるようになればいいと思う。

副市長

最初に挨拶したが、団体の悩みがどこも同じようなところがあるので、今、岩井委員が言われたような形がいいとか、そういう団体にもそれぞれ個別の事情があるので、情報交換をして、自分のところに一番適した解決方法を見つけられるような会議を開催できたらと思う。

議長（竹澤会長）

副市長がおっしゃっていただいたように、10月頃に整理をしていただいて、情報交換をできるような形がいいと思う。

他に意見がないようなので、報告事項（2）については、以上を報告事項とする。

報告事項（3）「令和4年度市民活動支援センターの利用状況」について

（資料 報告 3）－1～3）

議長（竹澤会長）

報告事項（3）について説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項（3）「令和4年度市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（3）について、委員に意見を求めた。

8階旧レストランの会議室は、3月末で終了しているが、4月11日からイオンノア店の会議室は、予約が入っているか。

関口支援センター長

イオンノア店については、会議室1、2ともに、6月まで予約が入っている。7

月、8月の予約は、5月1日から予約の受付としている。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（3）については、以上を報告事項とする。

報告事項（4）第3回こまめカフェの開催結果について

（資料 報告 4）

議長（竹澤会長）

報告事項（4）について説明を求めた。

関口支援センター長

報告事項（4）「第3回こまめカフェの開催結果について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（4）について、委員に意見を求めた。

北倉委員

こまめカフェが開催されることになって、本当におめでとうございます。

野田市ホームページの市民活動支援センターページの見出しに掲載されているこまめカフェの写真は、いつ差し替えられるのか。新しいものにされた方がいいのでは。カフェに参加した人が、「私、この前のカフェに参加してよかった。市のホームページに写真が載っている。」という、うれしい反応になるのでは、と思って意見させていただいた。

岩井委員

ホームページを頻繁に更新するのは、すごい効果があるようだ。

新潟のお酒を造る会社が、ホームページをこまめに更新しているそうだが、大学生にすごく評判がよく、入社希望者が多い、というのを雑誌で見たことがある。ホームページは大切だそうだ。

名代委員

野田市でInstagramもやっているの、是非そちらも活用して報告していただけるといいと思う。

Instagramで、こまめカフェの内容を紹介していただけると、Instagramの方がきっと登録者数が多いので、見てくれると思う。ホームページだと、見に行かなくては、という感じだが、Instagramだと、登録している人はすぐ見られるので、是非Instagramも活用していただきたいと思う。

議長（竹澤会長）

こまめカフェの参加者に対して、アンケートを行った結果はいかがだったか。

関口支援センター長

「市内に様々な市民活動団体があることを初めて知った」「他の団体の活動内容を知ることができた。自分の団体とのコラボ等も考えられる」といった回答があった。

議長（竹澤会長）

他に意見がないようなので、報告事項（４）については、以上を報告事項とする。

報告事項（５）学習会（助成金）の開催結果について

（資料 報告 ５）－１～２）

議長（竹澤会長）

報告事項（５）について説明を求めた。

荒井コーディネーター

報告事項（５）「学習会（助成金）の開催結果について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（５）について、委員に意見を求めた。

芝田委員

よくやっている感じがする。

岩井委員

いいのではないか。本当にお疲れ様でした。

議長（竹澤会長）

申請用紙の書き方とか、毎年同様ではなく、変わっていくという話があったが、こちらで対応しないと、申請したいけれども申請をしない、ということはあるか。

荒井コーディネーター

例えば、助成額が多い 100 万円以上の申請は難しい。20 万、30 万の助成額団体の内容は、そんなに難しくはないが、おっしゃるとおり、毎年同じではなく、微妙に書き方が変更というもあるので、毎回、こちらが最初に申請用紙を全部ダウンロードして、チェックしながら相談に来た方にお伝えする、というやり方をしている。申請に至るまでは、3、4回は相談したり、メールでやり取りをしたりしている。申請した結果が不採用だと、こちらも団体も、がっかりする。

申請するに当たっては、例えば会則がない、予算、決算がない、という内容が多い。申請をすることによって、会則を持つようになり、予算、決算を作ろうという、自分たちの会を見直す意味でも良いのではないかと相談を受けながら感じている。

議長（竹澤会長）

毎年、よくやっただいて、本当に有り難い。

他に意見がないようなので、報告事項（５）については、以上を報告事項とする。

報告事項（６）令和４年度市民活動支援センターの事業実施報告について

（資料 報告 ６）－１～１４）

議長（竹澤会長）

報告事項（６）について説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項（６）「令和４年度市民活動支援センターの事業実施報告について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（６）について、委員に意見を求めた。

詳細を出していただいて、いつも感謝している。20 ページの中小法人・個人事業者のためのコロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援する事業復活支援金の採択結果だが、実際、応募するNPOはどれぐらいあったか。

荒井コーディネーター

登録しているNPO法人全てにメール等でお知らせをした。その中で、最初の年は5団体くらい申請し、申請したところは全部採択されている。どんどん少なくなって、最後は3団体だった。お知らせはしているが、これも申請が難しい。

毎年申請して、毎年もらっている法人が、3団体くらいある。思ったより来なかった。お知らせを何回もしないと、なかなか反応はなかった。

北倉委員

感想みたいになってしまうが、つうしんの発行が毎回大変だなと、思い眺めながら見ている。

内容が、実施、報告等お知らせみたいな感じである。もう少し市民の声が入ると、みんな読むのかなと思う。余り読まないのでは、という感じになっているので、何かちょっとした工夫があるといいと思う。何か定型になってきている印象があるので、もう一つあるといいと思う。

助成金については、センターからお知らせが来たり、どうですか、という電話を直接頂いたりすることで、ようやく検討のスタートラインに立って、どんな助成があるの、と考えたりしている。お知らせが来るが、自分の団体が対象とは思わないし、や

る気もないので、そんな大変なことは、と。けれど、センターのお勧めがあるから、どんな話か聞いてみようというふうに、恐らくどの団体もなると思うので、センターからアプローチを頂くのは、大変有り難い。いろいろな団体がトライして、助成金をゲットしている状況が見えるので、いいと思う。

あと、各会議室の利用状況が増えているということは、それだけコロナの終息とともに市民が活動し始めたという証拠なので、すごくうれしいことだ、と思っている。

会議室が、なかなか借りられない、という話はあるのか。

関口支援センター長

会議室は、イオン会議室とフリースペースだけとなっているので、早い段階で埋まってしまう状況である。自由に日時の調整ができればいいのだろうが、団体の方には総合福祉会館や公民館等も活用していただきながら、活動してもらっている。

議長（竹澤会長）

つうしんは、年6回発行されているが、私もそういう広報のようなものを作った経験があり、本当に大変である。自分が仲間に配るのであれば、そんなに気を使わないけれども、公に市民に配るとなると大変である。つうしんを見て行動を起こしたり、相談に来たり、今までと違った環境の中で、関わってくるきっかけにもなると思うので、大変だとは思いますが、充実させて頑張っていただければと思う。

他に意見がないようなので、報告事項（6）については、以上を報告事項とする。

報告事項（7）令和5年度市民活動団体支援補助金について

（資料 報告 7）

議長（竹澤会長）

報告事項（7）について説明を求めた。

須賀市民生活課長

報告事項（7）「令和5年度市民活動団体支援補助金について」を説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項（7）について、委員に意見を求めた。

北倉委員

令和6年度に向けて改善、見直しをしていこうという説明だったが、どのような点を見直していこうというのを、公開できる範囲でいいので教えていただきたい。

関口支援センター長

現在、市から補助金を支給されている団体は、別の補助金をもらえないことになっ

ている。これは、市だけではなく、国や県から支給されている場合も同様である。

既に補助金の支給を受けていたとしても、支給を受けられるような制度の見直しも必要だと思う。

議長（竹澤会長）

武智委員に意見を求める。

武智委員

そういう方向だったらいいと思う。

芝田委員

私が今やっているガイドの会でも、市から少し補助金をもらっているから、こういうのを見たら申請してもいいかな、と思ったけれども、やはり二重にもらえないというところがネックになるから、その辺を明確にしてほしい。

議長（竹澤会長）

市民の立場からすると、すごく有り難い。市民のため、活動のことを思って、一歩踏み込んでいる。いろいろな発想、考え方。通常は、市民から言われたり指摘されたりして考えるというケースが多いと思うが、今のお話だと、安心できる気がする。

岩井委員に意見を求める。

岩井委員

公金を使うのだから、ある程度の縛りは必要かなと思う。

議長（竹澤会長）

加藤委員に意見を求める。

加藤委員

パソコンで、資料作成や印刷に時間がかかるので、新たにレーザープリンターを購入したいという希望があり、補助金を申請することが可能かどうか聞きたい。まだ登録していない団体に対して、センターや社会福祉協議会に登録すると、補助金を頂きながら事業を活発にできるのではないかと話をしているが、例えば、生涯学習センターで支援を受けてやっているのは、市の補助金を受けているボランティア団体なのか。その団体に自分が聞けばいいのだが、自分が理解していないので教えてほしい。

岩井委員

先ほどの自分の意見に補足させていただく。分かりにくかったと思うが、補助金申請を使いやすくすることについては、全く異議がない。ただ、目的は、公益を実現するにつながるか。これは大事にした方がいいと思う。

つまり、楽しみながら、公益を充足させること、楽しむことについては、自分で負

担してもらうというのが、原則かなと思う。

名代委員

岩井委員の意見に賛成である。

議長（竹澤会長）

いろいろな方向から検討を考えて、決めていくという形がよろしいかと思う。

他に意見がないようなので、報告事項（７）については、以上を報告事項とする。

議案１ 令和５年度の市民活動支援センター事業実施計画（案）について

（資料 議案 １）１～５）

議長（竹澤会長）

議案（１）について説明を求めた。

関口支援センター長

議案（１）「令和５年度の市民活動支援センター事業実施計画（案）について」を説明した。

釜田主任コーディネーター

議案（１）－２から５「第６回市民活動元気アップふえすた開催計画（案）について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議案（１）について、委員に意見を求めた。

名代委員

私たちは、元気アップふえすたをととても楽しみにしていて、自分たちの活動を頑張ろうと思っているが、一般市民がもう少し来てくださって、活動の場をもっと見てほしい、といつも願っている。広報活動もいろいろありがとうございます。

まめメールでの発信と言っているが、まめメールで大丈夫なのか、という感じがする。できたらInstagramに掲載すれば、楽しそうかなと思って、参加する方もいらっしゃると思うので、是非Instagramもよろしく願いしたい。

釜田主任コーディネーター

まめメールも、イベントの案内という項目の中で、発信している。先ほど報告したこまめカフェの参加団体のアンケート項目で、「こまめカフェをどのようにして知りましたか」という質問で、一番多かった回答が、まめメールだった。市報やホームページなどもあるが、一つの有効な手段で、InstagramについてもPR推進室を通してやっていこうと思う。

情報発信については、事前案内のパンフレットで、開催だけではなく、参加団体の紹介や出演団体のタイムスケジュールを入れるなど工夫していきたいと思う。

名代委員

野田市では、ツイッターはやっているか。

須賀市民生活課長

野田市でもツイッターはやっているが、現状は、緊急時、災害時の活動に限定している。まめメールで発信しているものについては、現在運用されていない。

名代委員

若い人は、スマートフォンでツイッターかインスタグラムである。ホームページを見て、自分で検索して参加してみようという時間、手間を惜しむ人がいるので、是非今の若い人に合わせて、ツイッター、インスタグラムを発信していただきたい。

議長（竹澤会長）

他に意見がなければ、議案（１）については了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

高梨コミュニティ係長

次回の運営協議会の日程について、７月２７日（木）で開催したいと考えている。時間は午後２時から、場所は２階中会議室で開催したい。

議題は、補助金審査会委員の推薦や、補助金要綱の見直しについて、センター登録状況や利用状況の報告等を予定している。

議長（竹澤会長）

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、７月２７日（木）に決定する。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。